

# アナフィラキシー

## 1 定義

アレルギー反応により、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー呼吸困難などの呼吸器症状が、複数同時にかつ急激に出現した状態をアナフィラキシーと言います。その中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力を来すような場合を、特にアナフィラキシーショックと呼び、直ちに対応しないと生命にかかわる重篤な状態であることを意味します。

また、アナフィラキシーには、アレルギー反応によらず運動や身体的な要因（低温/高温など）によって起こる場合があることも知られています。

## 2 原因

生徒等に起きるアナフィラキシーの原因のほとんどは食物ですが、それ以外に昆虫刺傷、医薬品ラテックス（天然ゴム）などが問題となります。中にはまれに運動だけでも起きることがあります。

## 3 症状

皮膚が赤くなったり、息苦しくなったり、激しい嘔吐などの症状が複数同時にかつ急激に見られますが、もっとも注意すべき症状は、血圧が下がり意識の低下が見られるなどのアナフィラキシーショックの状態です。迅速に対応しないと命にかかわることがあります。

## 4 治療

具体的な治療は重症度によって異なりますが、意識の障害などが見られる重症度の場合には、まず適切な場所に足を頭より高く上げた体位で寝かせ、嘔吐に備え、顔を横向きにします。そして、意識状態や呼吸、心拍の状態、皮膚色の状態を確認しながら必要に応じ一次救命措置を行い、救急車で医療機関への搬送を急ぎます。

アドレナリン自己注射薬である「エピペン」を携行している場合には、緊急性が高いアレルギー症状があると判断したタイミングでショックに陥る前に注射することが効果的です。

| 緊急性が高いアレルギー症状                    |                                       |                                    |
|----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 全身の症状                            | 呼吸器の症状                                | 消化器の症状                             |
| <input type="checkbox"/> ぐったり    | <input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる | <input type="checkbox"/> 我慢できない腹痛  |
| <input type="checkbox"/> 意識もうろう  | <input type="checkbox"/> 声がかすれる       | <input type="checkbox"/> 繰り返し吐き続ける |
| <input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす | <input type="checkbox"/> 犬が吠えるようなせき   |                                    |
| <input type="checkbox"/> 脈が触れにくい | <input type="checkbox"/> 息がしにくい       |                                    |
| <input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い | <input type="checkbox"/> 持続する強いせき込み   |                                    |
|                                  | <input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸     |                                    |
| 緊急性が高いアレルギー症状があるか、5分以内に判断        |                                       |                                    |

